

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 6 年 1 月 31 日

事業所名 Basicあいおん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動に合わせて必要なスペースを確保できています
	②	職員の配置数は適切である	○		適切な配置に加え、障害者支援経験者、元教員が在籍しています
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		東京都の指導に基づき配慮しています 情報伝達への配慮のため視覚支援を取り入れています
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日、清掃・消毒を行っています 児童発達支援の子ども用に机や椅子を用意しています
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		支援の前に、毎回、ミーティングを行い、情報共有や問題解決、業務改善に努めています
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今回が、初めてのアンケート調査になります 評価を職員間で共有し改善していきます
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		弊法人HPにて公開していきます
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		外部評価は行っておりませんが、保護者からのアンケート結果を基に必要に応じた改善を行っています
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修を行い、常に職員の資質向上を図っています
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画期間ごとにアセスメントを行った上で、児童発達支援計画を作成しています
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		日々のアセスメントの他、保護者から、他機関でのアセスメントや検査結果等を共有していただいています
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		日々の支援やモニタリングを通して、保護者からのご意見やご要望を伺い、児童発達支援ガイドラインに基づいて計画を作成するよう努めています 必要に応じて、口頭でお伝えする時間を設けるようにしています

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		視覚的な支援の必要な利用者さんには、絵カードなどを活用しています
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	経験者の案を基盤に、チームで意見を出し合っています
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者さんの特性に合わせて工夫しています
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している		○	現在は、主に個別活動を行っています 必要に応じて職員がグループに混じって活動することもあります
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎回、ミーティングを行い、ホワイトボードで見える化をしています
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎回、情報共有の時間を取っています また個々の記録を(サービス提供記録とは別に)作成しています
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		その日に関わった職員が必ず記録を残しており、状況を把握し合う事で、適切な支援に結び付くようにしています
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングの機会を作っています
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○	セルフプランの方ばかりであったため、今まではサービス担当者会議の機会がありませんでした
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者の方にお声掛けをいただき、幼稚園、保育園の見学をさせていただきました
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当いたしません
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当いたしません
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	今まで、そのような機会がありませんでしたが、今後は積極的に行っていきたくと思っています
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	今まで、そのような機会がありませんでしたが、今後は積極的に行っていきたくと思っています
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		数名の職員が、見学・訪問しています

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	現状、保護者の方からのご要望もないため、行えておりません
	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	法人としての参加はありますが、事業所としての参加はありません
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎の際のお話を通じて、タイムリーに共通理解を図れるよう心がけています
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	今後行っていききたいと思います
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に、運営規定と利用者負担額等について説明しています
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		送迎時等のモニタリングの際に、支援内容を、保護者と共に確認できるようにしています
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談しやすい雰囲気づくりを心掛けています 面談の際に、助言や支援を行う事もあります
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	今後行っていききたいと思います
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ご要望に応じて、話を伺う時間を取るようにしています
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	ご要望があれば、沿う形に整えたいと思います
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報、鍵付きの書庫に保管しています また廃棄書類はシュレッダーで処理しています
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		傾聴の姿勢を心がけるようにしています
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	行事のご招待等はしておりませんが、事業所の外にボードを出し、日々職員から情報発信をしています
	非常時	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
等 の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難訓練を実施しています
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の 子どもの状況を確認している	○		利用者さんの様子で変わったことがある時には、お知らせいただけるようお願いしています
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	○		現在は該当児はいらっしゃいませんが、必要に応じて行います
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している	○		ヒヤリハット事例が発生した場合には、報告書を作成し、職員間で共有しています
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	○		定期的な内部研修に加え、主となる職員が外部研修に参加しフィードバックを行っています
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に、重要事項説明書でご説明し、ご了承を得ています

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。